

「溶融スラグコンクリート品質審査制度」

平成16年6月

香 川 県

【修正履歴】

年月日	摘 要	審 議 等
H19.9.6	示方配合の変更による再品質審査申請（書類審査）の追加	副成物再生利用部会(19.9.6)

第1 用語の定義

溶融スラグコンクリート品質審査制度(以下、「この制度」という。)では、用語を以下のとおり用います。

- 「工事」：香川県が発注する工事で、レディーミクストコンクリートを使用する工事。工事の工種を問わない。生コンの打設数量を問わない。
- 「生コン工場」：JIS表示認定工場(JIS A 5308に規定されるレディーミクストコンクリートを出荷できる工場。)。または、その工場を運営する会社。
- 「工事請負者」：工事を請負った会社。(元請、下請を問わない。)
- 「溶融スラグ」：豊島廃棄物等処理事業により出荷された溶融スラグ。
なお、産地は、直島環境センターとする。
- 「溶融スラグコンクリート」：JIS A 5308に規定されるレディーミクストコンクリートの材料の一部に溶融スラグを用いたコンクリート。
ただし、溶融スラグ置換率は、原則として、細骨材における質量百分率で20%以上40%以下とする。(置換率を容積により取扱うことは差し支えありません。ただし、その結果を質量百分率に換算して、その割合以上であることは必要です。)
- 「予備練」：生コン工場が、示方配合の準備のために行う配合試験。
- 「試験練」：生コン工場で行われる品質審査当日、県職員等が立会して行う配合試験。または、品質審査申請(書類審査)のための県職員が臨場しない生コン工場の配合試験。

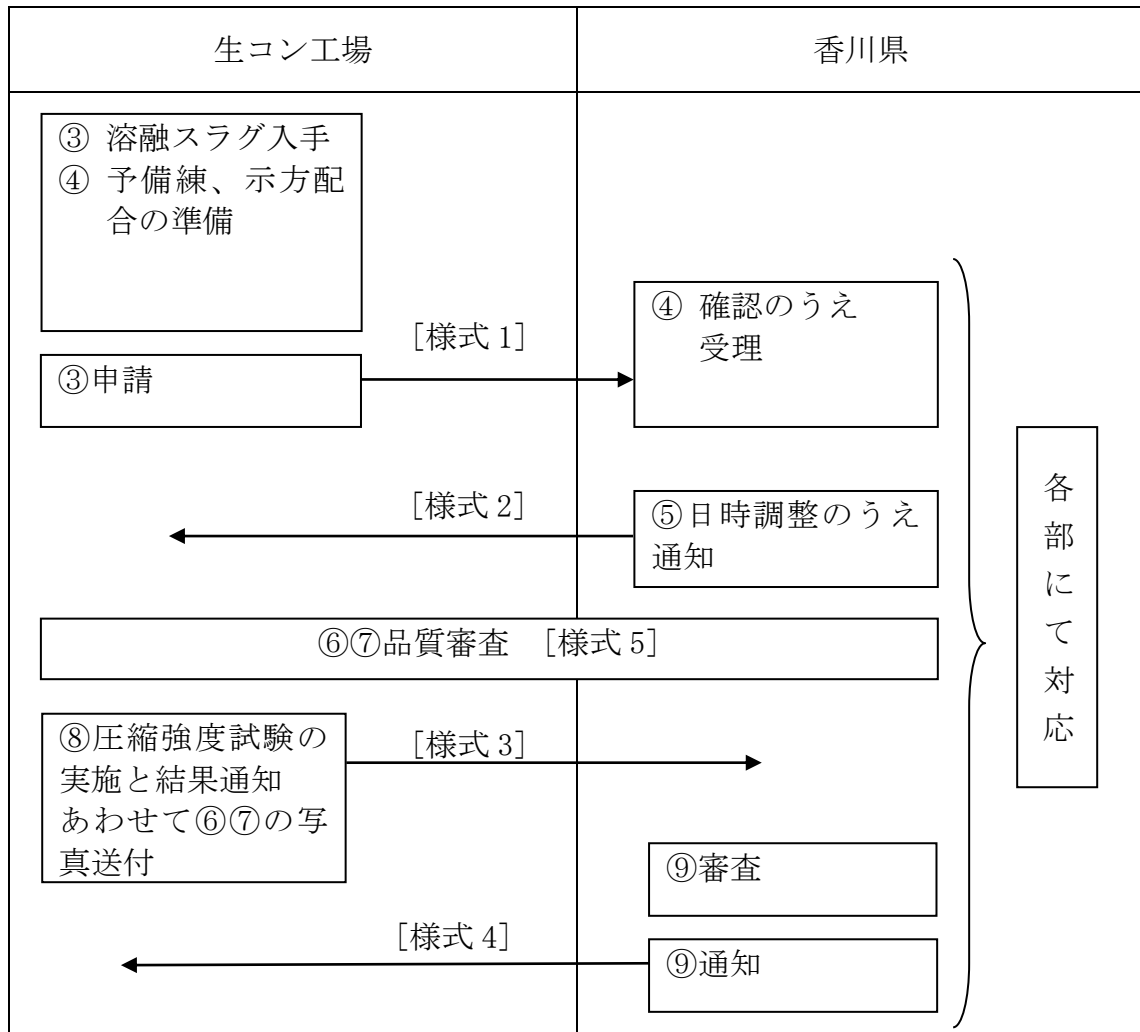
第2 体制

この制度は、香川県が運用します。

生コン工場への立会いは、香川県職員または香川県が委任した者が行います。

第3 手続きの流れ

(立会いがある場合)



- ① (生コン工場)熔融スラグを入手してください。
- ② (生コン工場)予備練などを行って、県が定める品質を満足し、かつ今後とも安定した品質で出荷できる熔融スラグコンクリートの示方配合を準備してください。
- ③ (生コン工場)生コン工場または本社から香川県廃棄物対策課(〒760-8570 高松市番町4丁目1番10号 TEL(087)832-3228 FAX(087)831-1273)へ「様式-1 熔融スラグコンクリート品質審査申請書」に必要事項を記載のうえ、郵送または持参により申請書とあわせて配合報告書を提出してください。また、申請は会社単位でなく、工場単位で行ってください。

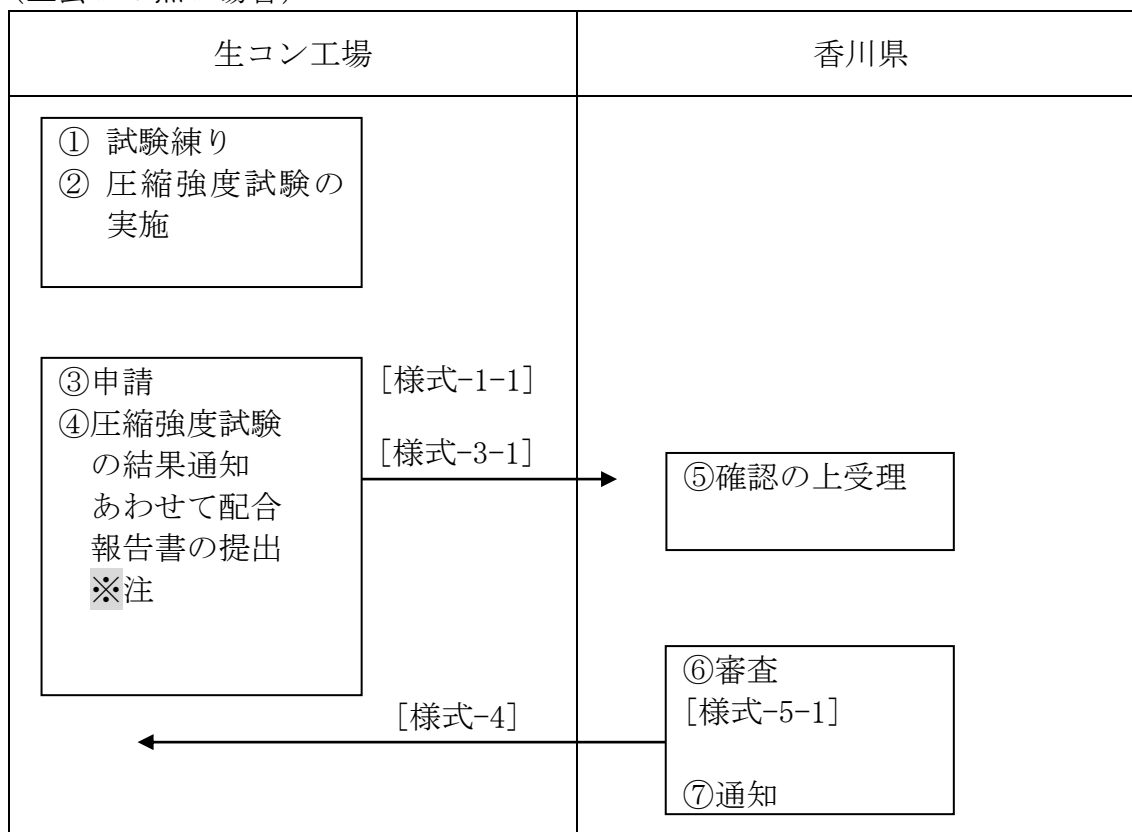
なお、申請時期は、工事の工事請負契約締結前でも、締結後でもかまいません。

- ④ (県)③を受理したら、記入漏れなどの不備がないかどうかを確認し、受付を行います。

不備があれば、県が生コン工場に電話等で連絡し、再度提出していただくことがあります。

- ⑤ (県)④を受付したら、電話等により日時を生コン工場と打ち合わせしたうえで、生コン工場に対し「様式-2 溶融スラグコンクリート品質審査通知書」を郵送するか、または品質審査当日に持参します。
- ⑥ (生コン工場、県)生コン工場で、品質審査を行います。生コン工場側の立会者は、コンクリート技士またはコンクリート主任技士等の有資格者が1名以上同席してください。「様式-5 溶融スラグコンクリート品質審査制度チェックシート」に従って審査します。
- ⑦ (生コン工場、県)試験練を二者立会いのもと、行います。
このときに、「土木工事施工管理基準及び規格値(案)(2-1)(2-2)等」に定める試験方法により、以下のフレッシュコンクリートに関する試験等を行います。
この試験は、実機、室内どちらでもよいものとします。
(a)計量 1回 写真を撮影する。
(b)スランプ試験 1回 写真を撮影する。
(c)空気量試験 1回 写真を撮影する。
(d)圧縮強度試験用の供試体を3本(材齢28日強度用3本)作成すること。
(e)その他、「様式-5 溶融スラグコンクリート品質審査制度 チェックシート」に記載のある内容。
- ⑧ (生コン工場)材齢28日圧縮強度試験を行い、結果を香川県の担当者へ「様式-3 溶融スラグコンクリート圧縮強度試験結果報告書」により添付書類を添えて、報告します。
このとき、立会時の写真も送付してください。写真は、工事写真帳に整理するか、デジカメによる場合は、鮮明にプリントアウトして提出してください。
圧縮試験の合否判定基準は、「土木工事施工管理基準及び規格値(案)(2-1-P443)(2-2-P83)等」によります。なお、圧縮強度試験は、「JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート)に関する個別審査事項に定めのある外部試験機関」で行ってください。
- ⑨ (県)⑥～⑧により、客観的に審査を行い、「様式-4 溶融スラグコンクリート品質審査結果通知書」にとりまとめて申請者に通知します。

(立会いの無い場合)



⑩ (生コン工場) 予備練りなどを行って、県が定める品質を満足し、かつ今後とも安定した品質で出荷できる溶融スラグコンクリートの示方配合で試験練を行ってください。

⑪ (生コン工場) あわせて、材齢 28 日圧縮強度試験を行ってください。

⑫ (生コン工場) 生コン工場または本社から香川県廃棄物対策課(〒760-8570 高松市番町4丁目1番10号 TEL(087)832-3228 FAX(087)831-1273)へ「様式-1-1 溶融スラグコンクリート品質審査申請書」に必要事項を記載のうえ、郵送または持参により申請書とあわせて配合報告書を提出してください。

また、申請は会社単位でなく、工場単位で行ってください。

なお、申請時期は、工事の工事請負契約締結前でも、締結後でもかまいません。

⑬ (生コン工場) 品質審査制度の申請と同時に「様式-3-1 溶融スラグコンクリート圧縮強度試験結果報告書」により添付書類を添えて、報告してください。あわせて、配合報告書を提出してください。

※注 他の使用材料が変更となる場合は、該当する材料の試験報告書を提出してください。

⑭ (県) ④を受理したら、記入漏れなどの不備がないかどうかを確認し、受付を行います。

不備があれば、県が生コン工場に電話等で連絡し、再度提出していただくことがあります。

⑮ (県) 書類審査を行います。

圧縮試験の合否判定基準は、「土木工事施工管理基準及び規格値(案)(2-1-P443)(2-2-P83)等」によります。なお、圧縮強度試験は、「JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート)に関する個別審査事項に定めのある外部試験機関」で行ってください。

- ⑩ (県)④～⑥により、客観的に審査を行い、「様式-4 溶融スラグコンクリート品質審査結果通知書」にとりまとめて申請者に通知します。

第4 審査結果が「合格」である場合の利点

香川県が発注する工事について、「様式-4 溶融スラグコンクリート品質審査結果通知書」に記載された合格年月日以降に打設するレディーミクストコンクリートについて、JISに該当しないレディーミクストコンクリートの場合に必要な配合・計量等への臨場を省略することができます。

ただし、以下の事項を守ってください。

- ① 以下の資料を工事請負者に提出し、県の工事監督員の確認を受けてください。
- ・「様式-4 溶融スラグコンクリート品質審査結果通知書」で、品質審査結果欄が合格となっているものの写し
 - ・「レディーミクストコンクリート配合報告書」
- ② 「土木工事施工管理基準及び規格値(案)(2-1)(2-2)等」の定めのとおり、スランプ試験、空気量試験、コンクリートの圧縮強度試験等は従来どおり工事毎に必要です。

第5 再度の審査が必要な場合

品質審査に再度申請して合格する必要がある場合があります。

再度の審査が必要な場合とは、示方配合の変更該当する場です。

ただし、すでに合格している溶融スラグ置換率より下回る置換率で示方配合を変更する場合の品質審査の申請は、第3の(立会いの無い場合)によることができます。また、溶融スラグの密度・粒度が設計値に対して大きく異なったことにより示方配合が変更となった場合も、これと同様とする。

第6 結果の公表

品質審査に合格した生コン会社名、工場所在地等の情報は、インターネットのホームページ(香川県ホームページ)上に公開します。

第7 その他の事項

- (1) 本制度によって発行された溶融スラグコンクリート品質審査結果通知書を、国、市町村などの香川県以外の機関に提示したり提出したりすることは妨げません。
- (2) この制度に関連する事項で不正や不適切が発見された場合には、生コン工場に対してなされた「合格」を取り消すことがあります。

(様式-1-1) <<記入例>>

溶融スラグコンクリート品質審査申請書

平成 年 月 日

香川県知事
真鍋武紀 殿

(住所) 高松市番町 4-1-10
(会社名) 香川県庁生コン
(代表者氏名) ○○○○
(電話番号) 087-831-1111

社印

下記のとおり、溶融スラグコンクリートの品質審査を申請します。

記

申請区分	当初 再度 前回合格日：平成 年 月 日)		
審査対象工場	住所	三豊郡○○町○○1234	
	電話番号	0875-22-0000	
	連絡担当者		
指定事項の確認 (別紙参照)	設計基準強度 (N/mm ²)	18	
	粗骨材の最大寸法 (mm)	40	20 又は 25
	スランプ (cm)	5	8 15
	セメント種類	普通 高炉B	
	水セメント比 (上限値)	65 60 規定なし	
溶融スラグコンクリートの諸元	呼び強度	21	
	溶融スラグ置換率 (細骨材における質量百分率)	質量比	31%
		容積比	30%

示方配合表

粗骨材 の最大 寸法 (mm)	スラン プ (cm)	水セメ ント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材 率 s/a (%)	単位量 (kg/m ³)					
					水 W	セメ ント C	混和 材 F	細骨 材 S	粗骨 材 G	混和 剤 A

----- 香川県使用欄 -----

受理年月日	平成	年	月	日
備考				

別紙

溶融スラグコンクリート品質審査制度 指定事項一覧

設計基準強度 N/mm ²	最大粗骨材寸法 mm	スランプ cm	セメント 種類	水セメント比	備考
18	40	5	高炉B	60%以下	
18	40	8	高炉B	60%以下	
18	40	5	高炉B	65%以下	取引量少
18	40	8	高炉B	65%以下	
18	20又は25(いずれも可)	8	高炉B	65%以下	取引量少
18	20又は25(いずれも可)	15	普通	規定なし	取引量少

(様式-2) <<記入例>>

溶融スラグコンクリート品質審査通知書

(番号)
平成 年 月 日

(住所) 高松市番町 4-1-10
(会社名) 香川県庁生コン
(代表者氏名) ○○○○
(電話番号) 087-831-1111

香川県環境森林部長

公印

下記のとおり、溶融スラグコンクリートの品質審査を実施します。

記

1. 実施日 平成16年4月1日 10時00分から
2. 対象工場の名称と住所
(名称) ○○工場
(住所) 高松市○○町 1200-01

(様式-3-1) <<記入例>>

溶融スラグコンクリート圧縮強度試験結果報告書

平成 年 月 日

香川県知事
真鍋武紀 殿

(住所) 高松市番町 4-1-10
(会社名) 香川県庁生コン
(代表者氏名) ○○○○
(電話番号) 087-831-1111

社印

溶融スラグコンクリートの圧縮強度試験結果を、添付書類を添えて提出します。

記

1. 品質審査実施日 平成 15 年 12 月 26 日
2. 品質審査対象工場
(住所) 高松市番町 4-1-10
(電話番号) 087-831-1111
3. 圧縮強度試験結果 添付書類のとおり。

(様式-4) <<記入例>>

溶融スラグコンクリート品質審査結果通知書

(番号)

(日付)

(住所) 高松市番町 4-1-10

(会社名) 香川県庁生コン

(代表者氏名) ○○○○

香川県知事
真鍋武紀



溶融スラグコンクリートに関する品質審査を行った結果、以下のとおりの結果でありましたので、通知します。

審査工場名・住所	香川県庁生コン 高松市番町 4-1-10	
合格年月日	平成16年5月1日	
審査方法	<input type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 再度(前回合格日:平成 年 月 日)	
品質審査結果 (不合格の場合は理由を付すこと)	合格	今後、香川県が発注する工事に、「使用実績がある」とされるものと同等以上の品質があると認められる。なお、合格後でも状況に応じて調査をおこなうことがある。示方配合を変更する場合には、再度品質審査を受けること。

(注意)以下の写しは、審査時のものを示すものである。再度品質審査を受ける条件は別に定める。

配合の設計条件										
呼び方	F1-10(1)コンクリートの種類による記号		呼び強度	スラブ又はスラブフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号				
指定事項	セメントの種類		呼び方欄に記載		空気量		%			
	骨材の種類		使用材料欄に記載		軽量コンクリートの単位容積質量		kg/m ³			
	粗骨材の最大寸法		呼び方欄に記載		コンクリートの温度		最高-最低 °C			
	F1-10(1)反応抑制対策の方法 ⁽¹⁷⁾				水セメント比の上限值		%			
	骨材のF1-10(1)反応性による区分		使用材料欄に記載		単位水量の上限值		kg/m ³			
	水の区分		使用材料欄に記載		単位セメント量の下限值又は上限値		kg/m ³			
	澆和材料の種類及び使用量		使用材料及び配合表欄に記載		流動化後のスラブ増大量		cm			
塩化物含有量		kg/m ³ 以下		日						
呼び強度を保證する材齢										
使用材料 ⁽¹⁸⁾										
セメント	生産者名				密度 g/cm ³	Na ₂ O _e ⁽¹⁹⁾ %				
混和材	製品名		種類			密度 g/cm ³	Na ₂ O _e ⁽²⁰⁾ %			
骨材	No.	種類	産地又は品名	F1-10(1)反応性による区分 ⁽²¹⁾	粒の大きさの範囲 ⁽²²⁾	粗粒率又は実積率 ⁽²³⁾	密度 g/cm ³			
							絶	乾	表	乾
	①									
細骨材										
	②									
粗骨材										
	③									
混和剤①	製品名				種類	Na ₂ O _e ⁽²⁴⁾ %				
混和剤②										
細骨材の塩化物量 ⁽²⁵⁾				%		水の区分				
配合表 kg/m ³ ⁽²⁶⁾										
セメント	混和材	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②
水セメント比		%		水結合材比 ⁽²⁷⁾		%		細骨材率		%
備 考										

(様式-1-1)

溶融スラグコンクリート品質審査申請書

平成 年 月 日

香川県知事
真鍋武紀 殿

(住所)
(会社名)
(代表者氏名)
(電話番号)

下記のとおり、溶融スラグコンクリートの品質審査を申請します。

記

申請区分	当初	再度(前回合格日：平成 年 月 日)	
審査対象工場	住所	三豊郡〇〇町〇〇1234	
	電話番号	0875-22-0000	
	連絡担当者		
指定事項の確認 (別紙参照)	設計基準強度(N/mm ²)	1 8	
	粗骨材の最大寸法(mm)	4 0 20 又は 25	
	スランプ(cm)	5 8 1 5	
	セメント種類	普通 高炉B	
	水セメント比(上限値)	6 5 6 0 規定なし	
溶融スラグコンクリートの諸元	呼び強度	2 1	
	溶融スラグ置換率 (細骨材における質量百分率)	質量比	31%
		容積比	30%

示方配合表

粗骨材 の最大 寸法 (mm)	スラン プ(cm)	水セメ ント比 W/C(%)	空気量 (%)	細骨材 率 s/a(%)	単位量(kg/m ³)						
					水 W	セメ ント C	混和 材 F	細骨 材 S	粗骨 材 G	混和 剤 A	

----- 香川県使用欄 -----

受理年月日	平成	年	月	日
備考				

(様式-3-1)

溶融スラグコンクリート圧縮強度試験結果報告書

平成 年 月 日

香川県知事
真鍋武紀 殿

(住所)
(会社名)
(代表者氏名)
(電話番号)

社印

溶融スラグコンクリートの圧縮強度試験結果を、添付書類を添えて提出します。

記

- (1) 品質審査実施日
- (2) 品質審査対象工場
(住所)
(電話番号)
- (3) 圧縮強度試験結果 添付書類のとおり